

広報 NO. 85

しんぶん

新春

～新春の鹿部港～

元日の朝、鹿部漁港内に集う船は、若い女性のように、美しく着飾り、やわらかな日差しを浴び、その体を水面に浮かべ、新しい年を祝っておりました。

—おもな目次—

▷年頭のごあいさつ

鹿部村長

川村 秀次…… 2

鹿部村議会議長

船橋 竹治郎……2～3

渡島支庁長

松田 幸男……2～3

北海道知事

堂垣内 尚弘…… 3

▷国民年金の保険料が

今月から 1,100円に!!…… 4

50
1月号

年頭のごあいさつ

鹿部村長 川 村 秀 次

村民のみなさま、あけましておめでとうございます。

希望に輝く昭和50年の新春をみなさまと共に迎えることができましたことを心からお喜びいたします。

昨年は、国の総需要抑制、金融引締めなどにより国内的に例のない非常にきびしい情勢の年でありました。

今や生活をめぐる物価問題は、今日我が国最大の社会問題とされているところであり、今までの経済優先から福祉優先へと政治行政がさげばれており、福祉施策の拡充強化が課題とされております。

かえりみますと、一昨年末解決であったリハビリ問題が、昨年5月、八光産業KKと村との間で相互に一日も早い問題解決のために和解契約が成立いたしました。

現在、関係機関等の積極的なご努力によりまして、双方協力しい金融引締めのきびしい情勢下にあります。土地、建物と併せ買取先を求め交渉し、又要望しているのが現状で本年中に解決すべく最善の努力をいたす考えであります。

す。一方、村政におきましては、昨年4月より幼児教育振興のため、村立しかべ幼稚園が開園し、又老人福祉施策として計画の老人憩いの家が着工され、本年9月末に完成の予定であります。

今春から老人の方々のご利用をいただけるわけで集会所として、又いこいの場として有効に活用されることを心から願っております。

更に水産、建設事業関係につきましては、鹿部本別両漁港の整備拡張を始め船揚場新設、補修、岩礁、破碎、雑草駆除、投石、干場造成事業、サケ、ウニなどの移殖放流、増殖事業、林道、造林、河川、治山、公営住宅建設事業等を殆んど年内に完成をみましたことは、議会はもとより、村民各位の深いご理解とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

本年も又国内外の諸条件が変らないかぎり、経済の混迷が心配され、総需要抑制、金融引締めなどから地方自治にもその影響の波及は大きく、村財政も非常にきびし

い情勢から容易でないものがあります。

一方、住民福祉の事業が山積しており、財政の見地から検討し、緊急不可欠のものは、これを優先実行し、村民のみなさまとその労苦を分かちあい最善をつくして村政を推進してまいる決意であります。

終りにのぞみ、住みよい村づくりのために村民みなさまの深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに新しい年を迎えるにあたり、本年もみなさんが健康でご多幸の年であることを心からお祈り申し上げまして年頭のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

鹿部村議会議長

輝かしい新春を寿ぎ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、村政に対し一方ならぬご協力を賜りましてまことにありがとうございます。

心から厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、みなさまがたのご協力のもとにまちづくりの基礎となる、道路の整備、老人憩いの家建設などの諸事業も、きびしい経済状況の中で、どうか順調に進捗してまいりました。

またこれとあわせて、村民生活に直結したきめこまかい施策、すなわち、住みよい環境づくりや教育施設の充実さらには社会福祉などの充実を念願して村長ととも懸命に取り組んでおります。

昭和50年度予算編成にあたっては、その基調となる、国の予算及び地方財政計画等が確定していないが地方財政の指向は、地域社会の秩序ある発展と社会資本の整備充実等、住民福祉の向上をはかる

ための施策

かでありま

一方今後

勢下におけ

る、夏の増

騰による才

されませ

昭和50年

においては今

期待できな

館建設事業

振興対策、

年頭のごあいさつ

渡島支庁:

明けましておめでとうございます。

昭和50年の新春をみなさまとともにお祝いできうれしく思います。

1年の過ぎる早さに驚きながらも、昨年は国全体の経済を安定させようとしてとられた総需要抑制、金融の引き締めなどのなかに、なお諸物価の高騰や、生産物価格のアンバランスもでてまいり、さらには政治的にも動揺感が

みなぎり、私どもの日常生活に、あるいは事業経営に不安感がぬぐい切れませんでした。

国内外の諸条件がなお大きく変わらない昨今、今年もなお引きつづききびしい年でありましょうが、安定感が少しでも増す地域でもあり、生活でもあるよう、皆様とともに努力もし前進させたいものです。

それにしても昨年、管内にはさしたる災害もなく、農業において

は順調な作

殖栽培漁業

かかわらず

の北海

まった年で

また、幸

りまく大き

ンネル建設

大沼周辺大

設、函館流

揮、あるいは

規模漁場開

あいさつ

議長 船橋 竹治郎

施策展開にあることは明らかです。今後の経済動向の激しい情勢における地方財政は、その財源の増加とともに物価の高騰による才出の大巾な増加が予想されます。150年度の村財政は才入面には今年度より大きな伸びは見込まず、才出面では、公民館事業、村道整備事業、水産対策、中学校改築事業、消防

施設整備事業等の計画は沢山ありますが、財源とのバランス調整は予想以上にきびしいものと考えられます。このような情勢の中で、村政全般の均衡ある発展と村民福祉向上を図るため、議決機関たる、われわれ鹿部村議会といたしましても、本年もまた終始公正に、5千村民の信託に応え、村政の諸問題を慎重に審議し、村民各位のご期待にそよう努力する決意であります。



どうか村政に対するみなさんのより一層のご理解、ご協力を賜わりますようお願いいたします。また、年頭にあたり、いささか所感を述べてごあいさつと致します。

あいさつ

支庁長 松田 幸男

作柄に恵まれたほか、養殖漁業は、獲る漁業の不振に頼らず順調に拡大するなど、北海道における重要性が高まってきたと思っております。幸いにも渡島や函館をと大きな事業として、青函トンネル建設につづく新幹線鉄道、道大規模年金保養基地の建設、漁業流通センター機能の発達は地熱開発、沿岸の大規模開発整備関係事業等もい

よいよ具体化しつつあるなど、地域発展の方向づけをする重要な事業が軌道にのろうとしております。私どもはこうした活発な動きを止めず郷土を、お互がさらによく知りあい、基幹産業の振興につとめるとともに、無秩序な開発から環境をまもり、また海や水のごれを防ぎ、さらに交通事故、海難、火災等の災害防止に注意し、また日常生活においても、物の消



費や資源活用を見直しながら、地域全体が連帯感のある住みよい郷土造りに励みたいものです。皆様のご健勝とご活躍を祈念し新春のごあいさつといたします。

年頭にあたって

北海道知事 堂垣内 尚弘



道民のみなさま、明けましておめでとうございます。昨年の本道は、激動する内外情勢の大きな影響を受け、産業経済をはじめ道民生活もかつてない厳しい環境におかれました。私はこの異常事態に対処し、道民の不安をなくし、生活の安定を図ることが何よりも先決と考え、道政の及ぶ限りの諸施策の実行につとめてまいりました。

特に、道民の冬の生活に欠かすことのできない灯油の価格については、関係者の御協力により値下げを実現できましたが、今後とも道民生活に密着する問題について全力を傾け、その解決をけかけていく考えであります。

また、農業におきましては、幸いにも水稲が史上最高の収穫を記録するなど、3年連続の豊作となりましたことは、まことに喜びにたえない次第であります。

さらに9月には、北方の風土にふさわしい豊かな生活環境をつくり上げるため、北方圏地域各国代表の参加を得て、北海道で初めての国際会議として「北方圏環境会

議」を開催したのであります。私はこの会議の数々の成果を道政の上に生かし、道民のみなさまとともに、北海道の明るく豊かな未来の創造に力強く邁進したいと考えております。

私はこのようなすぐれた数多くの特性を持つ北海道こそ、我が国における唯一の希望の大地であることを確信しております。

今後とも、この特性を生かし、北海道としての個性豊かな発展をはかり、食糧基地の確立、エネルギー資源の開発利用、無公害工業の育成、国民保養基地の建設、すぐれた教育の場の確立、北方圏との交流促進などの諸課題と真剣に取り組み、道民の生活、福祉の一層の向上をはかってまいりたいと存じます。

私は、知事就任以来、「すべての道民のための道政、あらゆる地域のための道政、道民とともに歩む清潔で明るい道政、を基本理念とし、人間優先、生活重視の道政を積極的に推進してまいったのでありますが、さらにこの理念に徹し、道民とともに考え、とも

に行動する道民主体の道政、公正で明るい道政を確立して、道民みなさまの幸せを高めるために渾身の努力を傾けてまいる決意であります。

昭和半世紀という極めて意義深い年のはじめにあたり、所信の一端を申し上げ、みなさまの御協力をお願い申し上げますと共に御多幸と御健勝を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

謹んで初春を

お祝い申し上げます

村長	川村	秀次	村議会	議長	船橋	竹治	郎
助役	浜松	正繁	副議長	長	佐藤	友一	
収入役	松崎	四郎	総務常任	長	吉武	夫	
総務部長	小田	博久	総務委員	長	高橋	浅雄	
経済部長	佐々木	成克	建設委員	長	松川	義雄	
税務課長	吉田	金次郎	産業委員	長	根本	五郎	男
民生課長	松川	猛夫	観光開発	特別委員	長	葛西	定晴
総務課長	岡崎	英夫	議員	川村	宗十郎	浩	
企画課長	橋本	健蔵	議員	平沢	武藏	吉	
水産課長	松本	豊勝	議員	西谷	部良	次	
建設課長	古城	保弘	議員	坂井	口繁	秋	
水道課長	小玉	健一	議員	山口	長	隆	志
産業課長	盛田	栄	議員	山長	幡		
ミンク	熊谷	秋雄	議員	高田	春正	昭	
公営課長	職員	一同	議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員	山口	長	隆	志
			議員	山長	幡		
			議員	高田	春正	昭	
			議員	渡部	勇之進	秋	
			議員	山口	繁	秋	
			議員	山長	幡	隆	志
			議員	西谷	部良	次	
			議員	坂井	口繁	秋	
			議員</				